

第3学年 令和元年11月20日(水)第2校時		[科目名] 時事英語 学習指導案
単元 (題材)	① CNN Workbook Extended Course 2019 (Asahi Press) ② Smart Reader Approach (IIZUNA SHOTEN)	
目標	① Key word を聞き取り、概要を把握することができるリスニング能力を身につける。 ② 英文の構造を把握し、述べられている内容を十分に理解することができるようになる。	
指導上の立場	○教材観 「時事英語」は学校設定科目「英語」の中の国際系生徒用に設定されている科目である。最新の時事問題が扱われている「CNN Workbook」を用いて、主に聞くことによって時事内容を把握する演習を行っている。「Smart Reader」に関しては、入試のことも意識しながら、読解力、訳出力を高めることを行っている。 ○本単元で工夫している点 「CNN Workbook」では聞こえる音とその文字による英語表現または意味内容を結びつける作業を盛り込んでいる。「Smart Reader」ではペアで担当問題の発表を行う形式をとっている。	
指導計画	週に2時間の授業であるが、1時間は「Smart Reader」だけを扱う授業。もう1時間は前半「CNN Workbook」のNews一つ、後半で「Smart Reader」の実践問題を2つ扱うようにしている。	
評価	・聞くだけで概要を把握することができる。 ・正しく英文を読み取り、人に理解してもらえよう説明ができる。	

本時案		
本時の題材：CNN Workbook p.p. 41 – 42 News 20 For Our Planet + Smart Reader p.47 実践問題 41、42		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ Key word を聞き取り、概要を把握することができる。 ・ 英文の構造を把握し、内容を十分に理解することができる。 	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価の観点・基準・方法など
1. 挨拶 2. CNN Workbook (1) Vocabulary の発音確認 (2) Natural speed の CD を2回聞く (3) Low speed の CD を2回聞く (4) Check your comprehension の確認 (5) Transcript の音読 (6) Transcript の解説 (7) Expression の確認 3. Smart Reader (1) 担当ペアによる発表 (2) テキストの解説 (3) リスニングによる確認 4. 次時の連絡	題材をスクリーンに投影しておく ○ペアで発表し合う ○Vocabulary を見ながら CD について発音する ○Vocabulary が聞き取れるか確認する ○Check your comprehension が解答できるように聞く ○音読しながら News20 の概要把握することを意識させる。 ○解答例を示す ○発表方法はペアに任せる ○他の生徒が理解できたかどうかを確認する	○Natural Speed で Vocabulary の表現を聞き取ることができる ○Low speed なら Check your comprehension に解答できる ○他の者に十分理解してもらえようような発表ができる

英語表現Ⅱ 学習指導案 令和元年 11 月 20 日(水)第 3 校時	
単元 (題材)	第 1・2・3 問徹底リハーサル (数研出版)
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験第 1・2・3 問の形式演習を通して、文法・語法・語彙の力を向上させる。 ・客観式だが、単なる解答・解説だけでなく、特に対話形式の問題では、応答練習などの発話活動をいれる。
指導上の立場	<p>○教材観 センター対策用の問題集で、前半の第 1・2・3 問を扱っている。不十分な文法・語法・語彙力を高めることができる教材と考えて採用している。</p> <p>○工夫している点 単なる解答・解説に終わらずに、対話形式、スピーチ形式の場合には発話の機会をできるだけ設けるようにしている。</p>
指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・1 回を 2 時間かける。 ・前半の第 2 問は文法・語法の確認。後半は音読を多くして、内容把握をさせるようにしている。 ・指示、質問をできるだけ英語で行う。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・文法・語法の理解ができる。 ・音読をしながら、概要の把握ができる。

本時案 本時の題材：123 Rehearsal 第 5 回 第 1 問(p.12-) 第 2 問(p.36-)		
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・センター試験第 1・2 問の形式演習を通して、文法・語法・語彙の力を向上させる。 ・対話形式の問題では、応答練習などの発話活動をいれる。 	
学習活動	指導・支援上の配慮事項など	評価の観点・基準・方法など
1. 挨拶 2. Scramble Review Test (4 分) 3. 123 Rehearsal 第 1 問 A 発音 B アクセント 第 2 問 A 語彙・語法 B 語句整序 C 応答文	タイマーをスクリーンに提示 題材をスクリーンに提示 コーラスリーディングによる確認 第 2 問 BC は文章を板書させる 応答の発話活動をさせる スクリーン提示材と板書内容を精選する	テスト範囲内容を確認している 正しく発音をすることができる 語彙・語法内容を理解できる 正しく応答・対話ができる